

樟蔭国文学

第 19 号

- 藤壺は変貌したか……………久保重(1)
『後拾遺集』巻六「冬」評釈(二)……………安田純生(15)
内田魯庵文芸批評の研究(三)……………木村有美子(23)
——忍月との比較を通じてみた構成・視点・叙述上の特色——
語形と語義と表現と……………原田芳起(45)
——辞書の使命とその限界——
大阪方言における強調の音響的特徴……………杉藤美代子(55)

森鷗外小特集

- 「舞姫」における漢字の読み方に関する諸問題……………檀原みすず(65)
森鷗外文芸評論の研究(五)……………嘉部嘉隆(79)
——「幽玄論争」の論理と方法(1)——
没理想論争の論理(二)……………橋本佳代子(91)
「贗物」横行世界での「本物」志向の達成度……………福本彰(103)
——嘉部嘉隆著『森鷗外—初期文芸評論の論理と方法—』
を読んで——
覆刻「舞姫再評」「舞姫三評」「舞姫四評」(氣取半之丞)
「再、氣取半之丞に與ふる書」(相澤謙吉)……………嘉部嘉隆編(135)
檀原みすず

- 『太平記』(日本古典文学大系)年表索引稿(二)……………谷垣伊太雄(153)

学 報

大阪樟蔭女子大学国語国文学会